

新聞を使った授業⑨(写真部)

1月16日(木)に茨城新聞社の写真部の武井記者をゲストティチャーに迎え、写真部の生徒たちがプロの技を学びました。何を伝えたいかによって構図を変えるという武井記者。実際に記者が撮ったローアングルとハイアングルの写真の印象の違いに生徒たちは感心していました。また、「写真は引き算」という武井記者のトリミングの仕方による印象の違いも体感することができました。

一番盛り上がったのは、プロの機材を実際に触れさせて頂いた時でした。種類の違う3台のカメラを担いだ生徒は、その重さと軽々担ぐ記者に驚いていました。



気になる記事コーナー21

3年後のメダル目標

知覚障害者フットサル日本代表
利根川 優輝さん(23)

金銀3枚のフットサル選手の中から1人に選ばれた。昨年10月下旬、オーストラリアで開かれた知的障害者フットサル世界大会の日本代表選手として参加。15試合に出場し、ゴールを3つ挙げた。毎試合、ゴールキーパーとして活躍する。ゴールキーパーとしての活躍は、チームの勝利に大きく貢献している。16年にフットサル参加した。

「フットサルは、スピードはぴかー。マラソン大会もいつも優勝していました。当時から「いつか日本代表になる」と豪語していた利根川さん。サッカーでの日本代表とはいきませんでした。見事、フットサルの日本代表に選ばれました。まさに、有言実行！先輩の活躍に拍手！！

（編者注）

今回の気になる記事は、皆さんの先輩の記事です。14期卒業生の利根川優輝さんは、昨年10月にオーストラリアで行われた知的障害者フットサル世界大会に日本代表として参加。1アシスト2ゴールの活躍でチームに貢献しました。

彼は、記事にもある通り、在学当時からスピードはぴかー。マラソン大会もいつも優勝していました。当時から「いつか日本代表になる」と豪語していた利根川さん。サッカーでの日本代表とはいきませんでした。見事、フットサルの日本代表に選ばれました。まさに、有言実行！

先輩の活躍に拍手！！